

使用教科用図書の採択結果と採択の理由

福井大学教育学部附属義務教育学校後期課程

教科 採択教科書	採択の理由（内容，資料，表記・表現等）
国語 光村図書	学習の見通しをもち、学習・活動に取り組んだことを次の学習や日常の言語活動の中で活かすためのつながりが工夫されている。説明文では掲載されている図表や構成に、時代に沿った新しい工夫がある。さらに巻末に文章を読むための学習用語がまとめられており、それらを意識しながら生徒が主体的に文章の内容理解を深めることができる教科書となっている。
書写 光村図書	「基礎編」「学習編」「資料編」の3部構成である。小学校からの学習のつながりをふまえ、文字の書き方を毛筆で書いて確認、硬筆で書いて定着させるというつながりになっている。視覚的にもわかりやすくなっており、書くときのポイントを他の字を書く際にも応用できる。また、レポートの書き方など国語の学習活動とつなげやすい教科書となっている。
社会（地理） 東京書籍	最新の統計データや写真資料・主題図を見やすく掲載しており、現代の日本と世界の地理的状况を生徒が捉えるうえで読みやすい。節ごとにその単元の追究テーマの例が示されており、地域的特徴を追究し深めていく手がかりとなっている。資料活用力を高めるための地理スキルアップのコーナーも特設されており、地理的事象を統計的に捉えていくうえで有効なガイドとなっている。このため生徒が地理的事象を理解するため活用しやすい教科書となっている。
社会（歴史） 東京書籍	それぞれの時代の特徴を理解するうえで有効な歴史的資料を豊富に掲載しており、特にその時代の象徴的な資料を見開きページ左上に掲載しているため、生徒が時代像を把握するのに効果的な紙面構成となっている。また近現代史においては、世界の国々の関係を示す模式図や主題図が充実しており、国際社会における日本の政治的・外交的政策を理解するうえで有効である。章末には時代を大きくとらえる紙面があり、また次章に続く年表が掲載されているため、生徒が歴史の連続性を実感する教科書となっている。
社会（公民） 東京書籍	現代社会のしくみや社会が抱える諸課題の例が、資料をもとに数多く掲載されており、生徒がこれからの社会に対して深く関心を持つことができるように構成されている。特に公民にアクセスのコーナーでは、生徒の興味を引く身近で具体的な事例が示され、生徒それぞれが多様な価値判断を行い学級等での討論を促すことができる。章末には基礎的・基本的事項を整理する紙面があり、生徒の理解を確実にするための工夫がある。このため、生徒が自説を交流しこれからの社会について深めあう際効果的な教科書となっている。
地図 帝国書院	地理的分野・歴史的分野の双方に活用できる情報が十分に掲載されており、授業内容と関連付けながら活用しやすい。また、随所に鳥瞰図や分布図・グラフなどの資料が配されており、調べたり考えさせたりする学習に適している。生徒の理解を地理的広がりに関連付けて整理する際に活用しやすい地図帳となっている。
数学 啓林館	数学的な操作活動から考えを導きだす課題設定が多い。また、身の周りの事柄を数学的に捉えて課題を設定し解決していく問題も充実していて、探究的な授業で扱いやすい素材が多い。その他にも、自由研究のテーマ設定やレポートのまとめ方を示したページがあり、探究的な活動を個人でまとめる際に役立つことができる教科書となっている。
理科 東京書籍	どの単元においても探究的な展開で小単元の内容が構成されている。また単元の導入では身近な事物・現象の写真や単元を貫く問いを見開きで掲載し、生徒たちの学習意欲を喚起させている。小学校での学びとのつながりや、社会とのつながりを示す資料も断続的に記載されており、生徒たちは中学校理科としてだけでなく、生涯に渡る学びとして理科を捉えることができる。生徒たちが理科をより身近で自分の将来につながる教科と実感できるような配慮がなされた教科書である。

音楽（一般） 教育芸術社	表現領域（「歌唱」「器楽」「創作」の3分野）、鑑賞領域及び〔共通事項〕の内容がわかりやすく明記され、提示された教材曲で何を教えたいか理解できる。楽譜の音符や文字の大きさも適当で見やすい。伝統音楽の鑑賞に止まらず、表現できるように縦譜や簡易楽譜を記載して、歌ったり演奏したりできるように配慮されている。また、写真や絵も適切なので、イメージを持たせやすい教科書である。
音楽（器楽） 教育芸術社	楽曲の種類も豊富で、歌唱や器楽、創作の表現活動にも活用しやすい。写真や説明も分かりやすく、学びを深める手立てとなる資料が多い。器楽の教科書と一般の教科書をリンクさせて、生徒たちの思考力・判断力・表現力が高められる教材曲が多く、活用しやすい教科書である。
美術 光村図書	題材ごとに4観点の目標や問いが冒頭に、また関連ページが最後に表記され、指導しやすい構成になっている。資料となる作品の写真も、大きくわかりやすくアップして、質感を伝えるものなどがあったり、鑑賞資料も見開きページにできるだけ実物の雰囲気伝える工夫があたりして見応えがある。また、1年教科書は資料集の要素を多く含み、知識や技法に関する基礎基本が丁寧に押さえられて、2・3年教科書は1冊に合本され、これまでの活動を振り返るなど、授業に活用しやすい工夫が随所に見られる教科書である。
保健体育 学研	生徒たちが主体的に学習を進めることができるように、各時間の内容が課題解決的に工夫されている。写真資料が豊富で、学習内容を視覚的に捉えやすく、適切なグラフや図表により科学的な理解を深めることが期待できる。「探究しようよ」や「実習」のページでは、学ぶ意欲を引き出しながら、思考力・判断力・表現力など力の向上を促し、知識を習得する構成となっており、本校の目指す「活用や習得を巻き込む探究学習」を進めるにあたって適した教科書である。
技術家庭 （技術分野） 開隆堂	図版・イラスト・写真を多く用いて生徒の目線で掲載しており、基礎・基本的な学習事項を理解しやすい。「学習の目標」が冒頭に提示しており、学習内容やめあてを明確にすることができる。持続可能な社会を構築するために、“社会”“経済”“環境”の視点が具体例を加えながら説明されている。また肖像権や知的財産権の保護など、情報モラルに関する内容が充実している教科書である。
技術家庭 （家庭分野） 開隆堂	生活の中から課題を見つけて学習を進めていけるような構成になっている。各単位には「課題」「発展」「探究」などの学習活動を促すページがあり、学んだことを生活に活かす実践力を培っていけるような内容となっている。また、図表や写真も効果的に活用し、生徒たちの意欲を高めている。随所に取り入れられているトピックも生徒たちに考えさせる内容となっており、学びを深めていくことができる教科書である。
外国語 （英語） 東京書籍	現代社会において生徒たちが身近に感じられる話題や、生徒たちが考える価値がある題材を用いている。学習の系統性を考慮しながら、段階的に習得と活用を繰り返し、効果的な言語習得を促す工夫も見られる。英語の4技能を総合的に活用する自己表現活動の設定等の観点から判断し、本校の生徒たちの実態にも即した適切な教科書である。
道徳 東京書籍	話し合いの手引きがあり、考え、議論する道徳の授業スタイルでは、少人数での話し合いを促す手立てとして活用できる。また、役割演技を主体とした活動のページを設け、体験的に考えを深められるようにしている。いじめ問題を扱った教材は、「いじめ問題対応ユニット」を設け、いじめ問題を多面的・多角的に考えられるような教科書になっている。